

西の原中学校の学校適正配置シミュレーション（案）について

1 西の原中学校の現状

学区内における生徒数の推移は増加傾向にあり、現在、印西牧の原駅周辺の住宅開発が急速に進んでいることから、今後もさらなる増加が見込まれている状況です。

令和2年度には15学級の適正規模校ですが、令和7年度には25学級になると見込まれるため、大規模校の学校適正配置の検討対象校に該当することになります。

これにより、施設教室数の不足が予測されるため、社会増を含めた生徒数の推計を注視するとともに、印西市学校適正規模・適正配置基本方針の考え方にに基づき適切な対応を図る必要があります。

2 西の原中学校の学校適正配置シミュレーション（案）

学校施設の増改築により必要な教室数を確保するとともに、学区内で新たな住宅開発が進められる場合は、隣接学校区との通学区域の見直しを図ります。

【西の原中学校の学区】

